

市民と科学者を結ぶ月刊誌

『日本の科学者』への論文投稿・定期購読のお勧め

『日本の科学者』は1965年に創刊された市民と科学者を結ぶユニークな総合学術誌で、毎月5千部が発行されています。

今日私たちのあらゆる生活場面を科学が支え、革新し続けています。同時に、現代科学は社会に新たな不安をもたらしています。今求められているのは、科学を専門家と、それによって利益を得る人たちに独占させず、科学を市民の共有財産として、市民社会と共に発展させることです。

『日本の科学者』は、あなたの知的生活を豊かにし、人間と地球の未来を市民と共に考えます。また『日本の科学者』は、研究の発展を促す様々な課題も取り上げ、それらも研究者だけでなく市民と共有します。

ぜひこの機会に『日本の科学者』の定期購読をご検討下さい。1年購読契約の場合、7200円(税・送料込み)、月々僅か600円で、毎月お手元に直接お届けします。書店購入800円(税込み)より25%もお得です！まずは見本誌をご請求ください。現代を問う魅力的な特集企画が毎号掲載されます。

JOURNAL OF JAPANESE SCIENTISTS 日本の科学者

特集
国民生活最優先の経済運営とは何か

Vol. 11
2019

「成長幻想」と決別を
—経済政策の分岐点—
小西一雄

先鋭化する階級対抗と実現
可能な経済政策
大西 広

中小企業の維持・発展に
むけての課題
—地域における中小企業の役割—
山本真民

目録

ならまち昆虫館館長の「夢をかなえる
科学者」物語—金融機関の課長から
昆虫館の館長へ—

中村圭一

論文

犠牲者を忘れ去る国家に本当の
復興はない。震災も震災も
—岩手県大槌町と沖縄県渡嘉敷村
での調査から—
友倉 哲



日本科学者会議 編/本の泉社

『日本の科学者』の特集 (2019 月 9 月号～2020 年 8 月号)

- 9月号 「地域の科学者たちがめざすもの」
- 10月号 「カジノ誘致の諸問題」
- 11月号 「国民生活最優先の経済運営とは何か」
- 12月号 「独立行政法人制度を問い直す」
- 1月号 「非正規女性研究者の今」
- 2月号 「公共圏における多声性」
- 3月号 「プラスチックごみによる沿岸・海洋汚染」
- 4月号 「九州・沖縄から東アジアの平和を構築する」
- 5月号 「日本社会で常識にしたい自然科学教養」
- 6月号 「性と人権」
- 7月号 「原発事故後の福島の第一次産業の展望」
- 8月号 「足尾銅山鉍毒事件に学ぶ」

既刊号の目次、
オープンアクセ
ス論文は『日本
の科学者』ホー
ムページで閲覧
できます。



見本誌の請求、定期購読・バックナンバーのお申込みは、下記の『日本の科学者』編集委員会宛に、「見本誌希望」として、お届け先住所・氏名を明記して、お送りください。折り返し、冊子と振込用紙をお届けします。

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HYビル『日本の科学者』編集委員会

電子メール：mail@jsa.gr.jp, FAX：03-3813-2363

『日本の科学者』 定期購読申込書

購読契約期間	20 年 月号から 1 年間	
年間購読料	7,200 円 (消費税・郵送費を含む)	
購読者氏名		
お届け先 郵便番号	〒	
住所		

お申込先： 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HY ビル 『日本の科学者』編集委員会
電子メール： mail@jsa.gr.jp, FAX： 03-3813-2363

『日本の科学者』は、分野横断的総合学術雑誌です

『日本の科学者』に掲載される論文は、異分野の研究者や、科学に関心の深い市民に向けて執筆されます。このような広がりのある読者を対象にする時、執筆者はしばしば執筆の過程で、日常の研究生活の中で見逃していた基本的課題に、気づかされます。また、それは自分自身の研究の位置づけを明確にするためにも、たいへん役立つこととなります。そのため、とりわけ若手研究者の皆さんに、『日本の科学者』への投稿をつよくお勧めします。

論文執筆要綱、各種論文執筆用のテンプレートは、下記 URL の『日本の科学者』ホームページ (URL: <http://www.jsa.gr.jp/04pub/index.html#nihonnokagakusya>) からダウンロードできますのでご利用ください。

研究会等発表論文は、『日本の科学者』に投稿しましょう

『日本の科学者』は査読誌です。論文は厳正な査読審査の後、掲載されます。論文掲載は無料です。編集委員会が認定した場合には、論文が『日本の科学者』ホームページにオープンアクセスとして公開されることもあります。また、JSA会員からの投稿には、編集委員会が適切なアドバイスをして、論文の誌上発表までお手伝いします。『日本の科学者』は、全国の100近い大学図書館、公立図書館でも定期購読、配架されています。『日本の科学者』に投稿し、あなたの貴重な研究成果を、全国の研究者や市民と共有しましょう。

皆様からの投稿をこころよりお待ちしております